

【教科】理科	【日時】2月 6日（金）5校時	【生徒】3年6組 36名	【授業者】高木 美加穂
江戸川区立小松川中学校 研究発表公開授業		「誰ひとり取り残さない、生徒一人一人の学力向上を図る教育実践」	

【単元名】生命の連続性 （全 25 時間）	
【単元目標】 遺伝の規則性と遺伝子に関する事象・現象、生物の種類の多様性と進化に関する事象・現象に進んでかわかり、科学的に探求しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。	
次	学習内容（時数） ◎本時
1～9	生物の成長と生殖
10～16	遺伝の規則性と遺伝子
17、18	生物の歴史
19	水中から陸上へ
20	さまざまな進化の証拠
21、22	進化と多様性
23、24◎、25	遺伝子と進化について
【本時の目標】 （24／25時） 個人で調べたレポートをもとに新しい発見や事実を共有し、伝い手に伝わりやすいよう発表原稿をまとめる。	
【本時の評価】 伝えたいことが明確に分かりやすく伝わり、興味関心を深める内容になっているか。	

学習過程	○主な学習活動・予想される生徒の気付きや反応	☆指導上の工夫
導入 5分	○自分の調べたテーマと一致するメンバーでグループを作り、調べた内容をグループ内で伝える準備をする。	☆聞き手の立場になって、より興味関心を持ってもらえる新しい発見や、グループ内で伝えたいことを、考えて準備できているか様子を見ながら声がけをする。
展開 40分	○グループ内で自分の調べた内容について発表を行い、発表を聞きながら、興味を持った内容について、紙に書き出していく。	☆各個人で、面白いと思った内容や気になった点を細かく書き出すよう伝える。
	話し合い：全体の発表で何を伝えるか話し合い、模造紙にまとめる。	
	○模造紙には箇条書きで書き、発表原稿は別で考えさせて、聞き手に伝わりやすくなるよう、話し合いながら進める。	☆あまり口出しせず、自分たちで悩んで考えさせられるよう様子を見る。考えたうえで悩んでいるようであればアドバイスをする。
まとめ 5分	○練習、分担を決める。	☆次の時間に発表できるよう、準備の進み具合をみて声をかける。